

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003.02.26

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）松本（国府小）津下（国府小）福井（伊島小）

【3年生の最初の授業に何を教えるか】

3年生は子供達が生まれて初めて理科の学習をする学年です。理科って何だろう。どんなことを勉強するのかな、と子供達は期待に胸を膨らませているに違いありません。しかし教科書の最初のページにあるのはホウセンカとヒャクニチソウの種まきなのです。そんなの生活科でもやったよ。1年生の時はずっといろんな種類の種をまいたよ、と子供達の落胆の声が聞こえてきそうです。そして、次の時間のモンシロチョウとその幼虫の観察に至っては落胆が失望に変わります。生活科の飼育活動に比べて種類が少なく、かといって内容に深まりがあるわけでもないからです。理科に初めて出会う3年生の1学期にこんな学習をさせて良いものなのでしょうか？（文責 福井）



【3年生 1. 植物を育てよう】

石浦先生から、3年生の植物を育てようの導入では脱脂綿にタネをまいて発芽の様子を観察させてはどうか、また、単子葉植物のタネも観察させてはどうか、というヒントを頂きました。これを参考にしてメーリングリストで検討しようと思います。

【DDモーター（リードスイッチモーター）】 福井

サイエンスレンジャーの研修会で山口県の家永善夫先生からDDモーターを紹介して頂きました。これは12年前に静観台グループが開発し福井が岡山県教育センターで発表したリードスイッチモーターそのものです。原理の理解が容易でおもちゃへの発展が可能なモーターとして開発したのですが、作者の手を離れて全国に広がっているのは感慨深いものがあります。



【クリップバッタ】 福井

プラスチックのクリップで作るバッタ。よく飛び跳ねます。
出展：『たのしい授業2002 11月号』（仮説社）



【ミラクルキューブ・全盲の東大生】 松本

国府小学校の塩谷先生作の立体版くるくるかわり絵。2つの牛乳パックが繋がっているのにどんどん絵が出てきてしまう。全盲の東大生はTOS Sの道徳プラン。映像と指導案が1枚のCD-ROMに入っていて、だれにでもすぐ追試ができてしまう。こうしたTOS Sの教材開発に対する姿勢には見習うことが多いと思います。

【サスケin国府】 津下

パソコンを駆使したビデオ作品。音も映像もプロ並み。この技術力は倉橋先生に匹敵するかも！？

【鉄塔を登る男・オーディオキャプチャー・タキノミー】 高松

鉄塔を登る男は仮説実験授業の国語の授業書。これにピッタリの東京タワーの模型付き。オーディオキャプチャーはアナログ音声をパソコンに取り込むためのもの。300枚のレコードをデジタル化中！タキノミーは前回から話題になっている行動目標の評価論。関心や意欲をどう評価すべきか…。